

厚真町（厚真集落協定）における平成26年度の活動内容

○ 対象地区

12地区（幌内、富里、高丘、東和、桜丘、本郷、幌里、宇隆、新町、豊丘、軽舞、鹿沼）
+公共牧場（宇隆、幌里）

○ 協定参加者

68名（農業者66名、農業生産法人1、その他1）

○ 協定農用地面積および交付金額

	協定面積 (㎡)	交付金額 (円)
田 (緩傾斜)	1,840,467	14,723,736
田 (急傾斜)	39,172	822,612
畑 (緩傾斜)	13,521	47,323
草地 (緩傾斜)	417,055	1,251,165
計	2,310,215	16,844,836

○ 集落協定における交付金の使用実績

交付金総額 (円)	共同取組活動分		個人配分	
	金額 (円)	割合	金額 (円)	割合
16,844,836	8,005,875	47.5%	8,838,961	52.5%

※ 平成23年度より、農地への交付金の2分の1以上は農業者個人に支払うことを原則とすることとなっています。本年の個人配分割合は55%ですが、公共牧場には個人配分がないため割合が55%を下回っています。

○ 共同取組活動の内容と交付内訳

ア. 農業生産活動等（基礎単価の活動：必須）

活動事項	取組内容	交付金額 (千円)
農用地に関する事項	鳥獣害防止対策	3,419
	公共牧場の維持管理活動	819
水路・農道等の管理方法	柳切り・草刈り	2,326
多面的機能を増進する活動	公民館の整備・補修・花壇整備等の環境美化 ^(注2)	394

イ. 集落マスタープランの記載（基礎単価の活動：必須）

活動事項	重点項目	26年度取組状況
協定農用地の拡大	協定農用地の拡大 223ha⇒230ha	協定農用地面積 231ha
機械・農作業の共同化等営農組織の育成	共同機械を利用した基幹的農作業（病害虫防除）の実施 目標 80ha	約58haの共同利用が実施された
新規就農者の確保	新規就農者1名の確保	1名が新たに就農した
認定農業者の育成	認定農業者1名の育成	新規認定者2名
共同で支え合う集団的かつ持続可能な体制整備	協定対象農用地から耕作放棄地を発生させない	耕作放棄地0ha

ウ. 農用地保全マップの活動（体制整備単価の活動：選択的必須）

活動事項	取組内容	交付金額（千円）
機械・農作業の共同化	共同機械による基幹的な農作業（病害虫防除・播種）	509
新規就農者の確保	研修の実施	0

エ. その他

活動事項	取組内容	交付金額（千円）
事務費	交付金支払事務等	786
27年度へ繰越	積立等	1,224

（注）ここでいう公民館とは、マナビイハウス等を指します。また、公民館整備・花壇整備は公民館本体ではなく、付随する倉庫や花壇の補修などのことです。

○ 26年度までの実施状況についての評価

集落協定に記載した幅広い項目にわたる多様な取り組みが適切に実施されている。
5年間の第3期活動は重点項目目標も概ね達成という結果になった。

○ 27年度以降の課題、取組の方針

27年度以降も、現在の活動を維持しつつ、地区ごとに必要な活動を適宜行う。
法制化に伴い、これまで以上に地域に耕作放棄地が出ないように地域の担い手と連携を取り、防止していく。

※ 26年度の活動状況の評価については、平成27年5月11日に開催された中山間地域等直接支払制度基準検討会・厚真町中山間地域等直接支払推進協議会総会で確認されたものです。